

天下の菩提所 霊峰高野山を訪れて

日本青年会議所石材部会研修レポート

レポート
鳴本 太郎

岡山県笠岡市 鳴本石材株



大勢の人々が参詣に來られます。

町石

新大阪駅からバスに乗り込んだ我々は、まず車中で高野山のDVDを鑑賞して予習はバッチリ。そして最初に訪れたのは、高野山を代表する石造品の一つである町石のある慈尊院です。

弘法大師空海が高野山を開いたとき、木の卒塔婆を立てて道しるべを作りました。現在は慈尊院から高野山の大門、壇上伽藍までの180町(約20km)にも及ぶ道程に、朽ちた木の代わりに高さ約3m30cmの花崗岩石造り五輪塔の町石が1町(約109m)ごとに建てられています。この道を町石道といいますが、実際にこの町石道を歩

奥之院

弘法大師空海が眠る御廟のある奥之院。高野山信仰の中心となる聖域の一つであり、名だたる武将・諸大名をはじめ多くの墓が建立されており、その数は20万基とも40万基ともいわれています。その参道には樹齢数百年もの杉の巨木が生い

茂っており、足を踏み入れた途端、周囲に漂う霊気に圧倒されます。悠久の歴史に想いを馳せながら約2kmの参道を歩きつくと、御廟があります。空海は今でも生きていると信じられており、毎日決まった時刻に給仕が行われているそうです。

奥之院を訪れて、先人を想う心と謙虚に供養する気持ちは時代を超えた日本人古来の美徳であると再認識し、石材人としてあらためて先祖供養の原点に立ち返る事が出来たのではないのでしょうか。

翌日、まず最初に訪れたのが根本道場大伽藍です。伽藍とはサンスクリット語のサンガ・アーラーマの音訳で、本来僧侶が集い修行をする閑静清浄な所という意味です。弘法大師空海は、高野山の造営にあたり壇上伽藍からお始めになり、宗教思想に基づく金堂、大塔、西塔、僧房等の建立に心血を注がれました。金堂は、高野山一山の総本堂で、年中行事の大半がここで勤修されます。本尊と両部曼荼羅を修法する3壇をもつ密教の大塔です。

現在の金剛峯寺は一つの独立した形をなし座主の住持ですが、高野山全体を総轄する伝統はそのままだと残され、また高野山真言宗の総本山として一切の宗務を司る宗務所があつて、全国及び海外の末寺4000カ寺の行政を統べ、1000万人の信者の信仰の中心となつています。

金剛峯寺も見どころは多いのですが、石材人として外せないのが、国内最大級の石庭である蟠龍庭。雲海の中で雌雄一対の龍が、奥殿を守っているのだそうです。そこでふと疑問に思う事があります。この文章を読まれている方の中には、経営に関わっている人も多いと思いますが、人(経営者)はなぜ会社

「会社が利益・利潤を追求する営利団体であることはまちがいない。だが、それが会社のすべてではない。会社が資本や経済の原理にしたがって、別の理論によつても、ごかされていることも事実である。」

とくに日本では、会社は営利を追求しているようにみえて、他方では社員とその家族の生活をささえる拠点、ひいては社員が家族とともに帰属する社縁共同体という認識が、つよはたらいいた。会社の活動を経済的に還元せず、非経済的に、会社ならびにそれをとりまく社会の性格をふかめることができるかもしれない。



花崗岩石造り五輪塔の町石。石肌の風合いが印象的でもある

が向かったのは、本日の宿泊先である金剛三昧院という寺院宿坊です。宿坊&精進料理が初体験の私は緊張感と期待感の中、その門をくぐりました。



宿泊先となった金剛三昧院にある多宝塔 (国宝)



大伽藍・根本大塔

墓を建てるのでしょうか？
中牧弘充著「会社のカミ・ホトケ 経営と宗教の人類学」という本に、その疑問に答える、また「明るい豊かな社会」の実現を目指す石材部会の今回の研修の総括にふさわしい文章がありましたので最後に紹介して、高野山研修のレポートを締めくくりたいと思います。

ストーン・マイスター

2010年11月体験セミナースケジュール

- ★東京都
日程：随時開催(予約制)
会場：フォトロン本社 セミナールーム (千代田区富士見1-1-8)
内容：「ストーン・マイスター」機能説明会
- ★大阪府
日程：11月10日(水) 10:00~17:00
会場：フォトロン大阪営業所 ショールーム (大阪市北区野崎町9-8)
内容：午前=ユーザーフォローアップ 午後=新規検討者対象
- ★栃木県
日程：11月10日(水) 10:00~12:00、13:00~16:30
会場：栃木県教育会館(宇都宮市駒生1-1-6)
内容：「ストーン・マイスター」機能説明会
- ★茨城県
①日程：11月11日(木) 10:00~12:00、13:00~16:30
会場：茨城県総合福祉会館(水戸市千波町1918)
内容：「ストーン・マイスター」機能説明会
②日程：11月12日(金) 10:00~12:00、13:00~16:30
会場：桜川市大和ふれあいセンター「シトラス」(桜川市羽田989-1)
内容：「ストーン・マイスター」機能説明会
- ★山形県
①日程：11月16日(火) 10:00~12:00、13:00~16:30
会場：庄内町文化創造館(東田川郡庄内町余目字仲谷地280)
内容：「ストーン・マイスター」機能説明会
②日程：11月17日(水) 10:00~12:00、13:00~16:30
会場：米沢市東部コミュニティセンター(米沢市花沢町1丁目2-38-6)
内容：「ストーン・マイスター」機能説明会
③日程：11月28日(日) 9:30~16:30
会場：山形ビックウイング3F 第2特別会議室(山形市平久保100)
内容：「ストーン・マイスター」体験セミナー

【セミナーに関するお問い合わせ先】
■フォトロン本社
TEL: 03-3238-2106 FAX: 03-3238-2109
http://www.photron.co.jp/sm/



奥之院参道



高野山真言宗の総本山・金剛峯寺にある国内最大級の石庭「蟠龍庭」

次を訪れたのは、言わ

いよいよ最後の見学地となるのが、高野山大霊園です。この見どころは何と言っても会社墓です。高野山大霊園は1969年に開設され、約2万坪の敷地内の主要通路の両側は会社墓でほぼ独占されています。

その大きさは2万坪納骨可能な巨大なものもありますが、普段我々が見慣れている大ききものもありませんが、五輪塔が最も多く、全体の約半数以上を占めています。会社墓の一角を覗いたので中身を覗いてみると、誰もが知る一流大企業の名前が数多く並んでおります。

その会社を地域別に見てみると東京に本社を置く会社もありますが、やはり関西の会社が圧倒的に多く、その理由を聞いてみますと、会社供養というのはいわゆる水子供養のような全国的な風習ではなく、現状では主として関西の地域的な現象として顕在化しているのだそうです。